

ナインズミーティング2（教育懇談会）実施報告
～各自治会役員等、女性団体、高齢者団体代表対象～

はじめに

ナインズミーティング2（教育懇談会）は、児童生徒数の推移、小学校における本村及び県内の複式学級を有する割合、学級数に応じた教員定数といった資料をもとに、持続可能で良質な教育環境の構築に向け、教育行政施策を策定する上で村民の幅広い層の方々に、本村の教育環境の現状を理解していただき、日頃感じていることや思っていることなどを本音で忌憚なく自由に述べてもらうことを目的として実施したものである。

- ・記載にあたっては、話し言葉を書き言葉に改め、話し言葉特有の表現を簡潔にするなど、なるべく読みやすくした。
- ・発言趣旨を損ないようにできるだけ忠実に記すよう努めた。したがって以下に記載されているものは、複数の人間による同趣旨の発言は一つに記したり、発言が長いものは適宜分割するなどしたので、記載されたそれぞれの内容は1人の人間によるものとは限らない。
- ・行政連絡員、老人クラブ、婦人団体の出席数はのべ38人である。

開催地区	期 日	場 所	参加者数(人)	備 考
戸 田地区	10月19日(火)	老人福祉センター	14	各自治会役員等、女性団体、高齢者団体代表対象
伊保内地区	20日(水)	HOZ ホール	18	”
江刺家地区	21日(木)	ふるさとセンター	6	”

【戸 田 地区】

意 見 等 内 容

- ・今の中学校の先生の人数は、5、6年前より減っているのか。
- ・人数が減っていないのに教科によって教員の数が違うのはどうしてか。
- ・クラスが減ってきて、先生も減ってきて、副免も持っていないとか、副免でまだ取っているのだったらともかく、副免でも取っていないとなってくると、そこでの評価の仕方というか、評点を付ける時に中学校に上がる時に、2、3年になってくると技術系など他の方でも点数が絡んでくる。内申書を書く時に。そこでも出てくるので、近い将来今いる小学生、保育園の子たちの点数の取り方じゃないけれど、質がどうなってくるのかなと思う。
- ・話を聞けば何かこう、希望が持てないような話ばかりのように思われるが、これが実態だと思う。ただ、中学校も1学年1クラス、全体で3クラスというようになってきて、先生方が当然配置が減ってくる、厳しい厳しいというが、それで行かざるを得ない状況が目に見えているということですね。
- ・前に策定して、進もうとしたのがぼしゃってしまった。とにかく早い時期にそういう学校を整備しようという思いがあったのだと私は思っているが、中にはそれがいかんというのを声を高くして反対している人が結構いた。
- ・教育長の頭にあるものを村民にちゃんとわかるようなかたちで話をしてもらった方が我々としても、では、そういうのをみんなで取り組もうというふ

うになるのではないか。

・必ずしも暗いだけではないのだよ、色々なやり方があるのだよというのを伺って、ある程度安心したが、いくらでも早い時期にそういうことを実現させるような手立てをやっていくべきではないかと思う。

・本当にもっともっと我々の責任で急いでやってあげなければだめだと思っている。他人ごとではない。

・個人的には前回の色々な話が進む中で、反対する立場の人たちから言わせれば場所だけの問題で反対しているような、自分の中ではそういうふうに映っていた。そういう次元ではない。

・村民の声というのを重要視しなければならないというのがあったけれども、やはりこの際は教育長の専門家として九戸村はこうあるべきだということを示してもらって、それを別に批判はしないので。村民は隅々までなかなかわからないと思う。だから専門家の立場から将来はやっぱりこうあるべきだよというのをある程度は示してもらって、みなさんから理解いただくような方法を選ぶのはどうだろうかと思う。

・こうした数字だけ表にされても分からないと思う。子供がいないとか。関係ないという人もいるかもしれないので。教育長なり、村長なりがこういうかたちでいきたいという表明をして、それで議論をさせた方が早いんじゃないかなと思うが。前の議会ですか議員の方で多分いろんな所、学校の視察とかそういったことを含めて小中一貫で行くという話になっていたと思うが、それがなんで覆されたのかというところの理解もまだできない人も半々ぐらいじゃないかなと思うのだが。考え方を示してそれでどうなのかという判断をしてもらおうというのがいいのではないかなと思う。

・急いでやらなければならない。

・(学校問題に手を付けるべきではないと思う人) いないと思う。小中一貫校のメリットとはどういうことかはっきり知らないから伺いたい。

・いずれ現状のまま年数が経っていけば、とにかく尻すぼみになるようにしか見えない。全国的に見たって人口減少というのは見え見えだからどこの地域にも多分そういうのは当てはまってくるような世の中になってくるのかなと個人的には思うので、いくらでも早い時期にこういう方法はこうだよ、というのを我々に教えてもらって、判断材料というかそういうものを先にやった方がいいと思う。

・アンケートを予定しているというお話だが、その内容は前回と同じような内容になるのか。アンケートの対象、前回はおそらく世帯に配布していたと思うが。そのアンケートを実際に書いて、世帯だと関係のない、例えばじいちゃん、ばあちゃんとかそういった方々がもう関係ないからというような感じもあると思う。実際にはもっと下げて、本当に対象になる小学生まで対象にするのか、その辺をちょっと伺いたい。

・(アンケート結果で学校問題に) 手を付けろという判断の比率というのはあるのですか。

・1人、2人でも反対がいた時はもうやらないということはあるのか。

・判断材料のどのぐらいの声があれば動くかとなれば、選挙だって大体は4-6か7-3で勝負したと頑張っている。

・かなり厳しい状況のようですが、今複式もかなりいいものだとのんきな話をしている人もかなりいて、ある程度お金の関係も考えていかないと、お金がいくらあっても間に合わないというような状況になってくるのではないか。それこそ国の借金が1人1,000万円にもなるような状況の中で教育費の関係でやっぱりある程度有効に使っていかなければ、これは大変な世の中になるのではないかと思うが。確かに複式は手取り足取りいいことはいいかと

思うが。

・いくら考えても九戸村を背負って立つ子供たちにいい環境でやる方法を考えなければ本当に、後々我々の年代が後悔することになる。子供のことを世話するのは我々の年代しかないのだから。実際対象の子供をもっている人たちはましてもう火がついているだろうし。

・周りの状況を見ながら勉強して、判断して、決めると。一番いい。周りを見ていいことはまねしていいと思う。

・もう一回手を付けるか付けないかから始まっていけばいいと思う。前回の話では40億円かかるとか、伊保内からとにかく小学校をなくするとかそれだけが先行したような・・・小規模校のメリット、デメリットなどがさっぱり表に出てこない、話し合いでも話に出てこなかった。伊保内地区の人もメリット、デメリットの状況をもう少し勉強して、もうちょっと具体的に理解してもらいたい。

・津波の時にどこかの小中一貫の学校が、小中一貫だから低学年を助けられたんだよという話があったので、その辺をもうちょっと中身の理解が足りないと思うから、その辺にもう少し時間をかけて話し合いを持ってほしいと思いました。

・子どもの人数の推移は危機的な状況だが、これから子供を持つという親御さんとか、そういった方たちが九戸村の学校、今は複式だからいやだということと他の市町村に行っているという人たちもいるかと思う。その方たちはどういう考えかは分からないが、私としては複式がいいとは思わないので、ある程度大きい学校、人数がいる学校になったとしたら、九戸で子育てしてみようという若い人たちも何人かは増えるのかなと思う。まず、学校がないと、そういう考えにならないという方もいるんじゃないかなと思う。そういった施設をつくるというのが最初かなと。そうすると子供も少し増えていくような感じもする。

・例えば学校の場所というのが出てくると思うが、ここでどこに集まるかは自然だと思う。伊保内が多いから伊保内に集まるというのは不思議はない。宇堂口からの通う子供たちは少ないから結局、戸田に集まった。九戸村が集まるとなればいっぱいいる伊保内であっても別に不思議はない。多い所に集まっていっている、集める場合は。少ない方に運んでやるよりは便利だ。

・場所に関してだが、学習指導要領が変わって小学校でも英語をやるとか、教科担任制とかそういった動きがある中で、小学校の中だけで単に統合して小学校の先生だけで回していくのも難しい面もあると思う。英語なんかだと中学校も専門の先生とかいると思うので、先生の融通がしやすいような場所、小学校と中学校が近くにあった方がやりやすいと思う。

【伊保内 地区】

意見等内容

・統合した場合、前に一貫校ということで新しい校舎を建てるということだったんだが、このように少なくとも、また新しく予算を付けて立て直すということか。そうではなく、統合だけを考えているのか。

・現状を見れば、統合というか再編をしなければならない。当然しなければならないと思う。

- ・なんで九戸村はこんなに便利がよくて近くであれなのに統合ができないのか、今まで不思議でならない。60年前に二戸市は白鳥小学校、坂本小学校というのが二戸と統合している。それなのに、石倉から生徒がそれこそ統合したとって二戸までバスで通うようにしたのを覚えているが、個々ではそれこそ歩いてきても、何できてもいいような所なのに統合できないという、私は村のシステムというか、不思議でならないなと思っていた。年寄りだからもう口を出すこともないなと思っていたが、本当に九戸村のくらい便利のいい所はない。僻地だのなんだのととんでもない話だ。
- ・現状のままでいいという人がいる、現状でもいいという人は何パーセントぐらいなのか、私が聞いている限りでは、今の父兄さんは早く統合してほしいと、クラブ活動も何もできないというようなことを言っている人がいっぱいいる。そういう色々な意見があるから、教育長としては教育者としてはどういう方向がいいかということをやっぱり、村民にだけ任せないでこういうふうに喋ってくるのが仕事だと思う。
- ・前にも同じような話をしたが、早急に統合すべきだと思う。子供たちの状況を見れば。前回の時にも学校の形態であるとか、場所がどうか色々なことがあったが、とにかく一つにするべき、統合するべきだ。学校を建てるまでにまた時間がかかって遅れていくと思うので、まずは伊保内小学校は元々2クラスの教室がある学校なので、今村内の子供たちを全部集めても入ると思うので、急いでとにかく統合する。その次の段階で新しく学校を建てるであるとか、あるいは形態ですね小中一貫校であるとか、色々あるようだが、その辺は検討しておいてもいいと思うので、まずは統合ということを考えてもらってもいいと思う。
- ・（早く統合しなければ）今の状況の中での教育環境を考えた時に、これから子供を学校に入れる親御さんとかがここから離れていくのではないかとすごく思う。今でも子供たちが少ないということは、若い人たちがここにいない村になる。やはりここで子供を育てたいという、そういう環境の中でここに家を建てて、ここで子供を、そういうふうな環境をつくっていかないとますます若い人たちがいなくなってしまう。そこを危惧する。もう管内だとすぐ移動できるので、二戸に家を建てるといった人たちが出てくると思う。そういった環境を地域づくりも含めて考えていかないと、今は数字で言っているけれども、もっと拍車がかかってもっと少なくなるかもしれないし、そういう取り組みをした時に、また若い人たちがここで子供を育てようと思えばここに定着するので、今の人数がもう少し解決するかもしれないし、そのちょうど今分かれ目ではないかと思う。だからすぐにでも統合ということを考えなくてはならないと思う。
- ・11月、12月にシンポジウムをという話だが、その辺をやっていた時に次年度から統合に向けて動けるといのかたちがつくれるのか。
- ・教育長が考えをもっているのであれば、やはり父兄とか、村にそういう意見をお話しして、それが早く実現するようなことをご指導していただければと思うが。
- ・子供が小学校の6年生の時、九戸中学校を統合した。色々なことはあると思うが、やっぱり統合しなければ。統合した年は大変だったけれども、段々落ち着いてきて九戸中学校になったような気がする。色々なことがあったが。
- ・伊保内高校になる時にみんながあっちにやりたい、こっちにやりたいと言っても、いや、それでは伊保内高校が駄目だから、よその学校にできるだけやらないようにして、伊保内高校に何とか入れてくださいと言われて、入れたというそういうことがあった。その頃はみんな親も伊保内高校をあれするから、定時制から伊保内高校になるからみんなが伊保内高校にしようというので、結構協力してみんながやったと思うが。

・今日来ている人たちは何かこれに対して関心があるから来ているので、村民の声を聞きたいということで開催しているわけですから、皆一人一人から発言していただければいいか。

・前に小学校でやった時の保護者の方々の様子というのを先程教育長が話したが、前回統合問題があって、今の状態にあるのが問題なのではなくて、何十年も前に本来はやっていなければならなかったのが、やっていないのが本来の問題であって、新しい学校ができるよとなったら 100 人中 99 人あたりはいいと思う。

・保護者が言っているのを聞くと、(前回の統合を) 期待していたのが流れてしまったからどうなっているんだ、教育委員会何やっているんだ、村は何をやっているんだみたいなかたちで協議されているが、そうではなくて、本来は何十年も前に進んでいなければならぬのをやっていなかった、その経緯が問題なのであってだからこそみなさんが、先程具体的におっしゃったような数値というのはみなさんも私も知らなかった、そこまで知らなかったもので、それだけ他の市町村と大きく離れた中で、九戸村は進んでいたのかということだろうし、その現状をみなさんが分かって一言ずつでいいので、みなさんこうした方がいいとやっぱり 60 代、70 代で今自分にそういう小中学生高校生がいないから関係ないではなくて、やっぱりそういう気質がある。

・村の財産というのは今後学校として残していくわけなので我々、50 代、60 代、70 代、80 代、90 代であっても死ぬまで何とかしてほしいとみんな考えていきましょうという関心を持つこと。保護者の人たちに対してはやはりこの親の年代、中にはおじいちゃん、おばあちゃんの年代の人たちもいるだろうけれども、そういう場に来て一緒になって我々もそうですが、お互いに声を聞くという、何かずっと避けている、お互いに。そして対立みたいなかたちで。だから、今の保護者の年代の人たちと我々とか大先輩たちのような方と一緒にになって関心を持って本気になってやっていくというのが大事じゃないかなというふうに思う。今日いただいた資料はすごく、最後の方に話されたこともすごく大事なことだなど、現状を分かっていなかったことを理解しながら、みなさんが村民みなさんが子供いるいない、孫がいるいない関係なくみなさんが関心を持って一緒になってやっていくしかない、やっていかなきゃならないと思うので、本当に一言ずつでもいいので(ここにいる皆の意見を)聞きたいと思う。

・小規模校が伊保内小学校で、過少規模が 4 つですね。4 月に各 PTA との話し合いを持ったがその時にその 4 つの小学校からぜひ統合してほしいというような声はなかったのか。

・何とかしてほしいというのではなくて、自分たちで統合させてほしいとか具体的な行動を示してほしいなと思う。例えば、宇堂口小学校はどうやって統合したかという、子供の数が少ないので可哀そうだから戸田と統合させてほしいと、父兄たちから声が上がって、行政の方は俺はもういいけれども地区の人でも了解しているのか。地区の人たちに支えられて宇堂口小学校もやってきたんだし、住民の方の声をちゃんと聴いてからもう一回・・・保護者たちは地区の人を説得して、みんなが全員がやっぱり統合するべきだというふうになって実現したんだと聞いている。そういう動きが普通にあるべきなのに、全然声も聞こえてこないし、どうなっているんだろうなと思う。今日もこうやって色々な人が集まっているけれども、保護者以外の人 coming。ほとんど伊保内学区だからあまり切実ではないけれども、統合するべきだというのをみんなが声を出さないと動かない、行政にやって下さいではなくて、もっともっと周りで意見をまとめてこのままではだめだ、統合しましょうという声が集まれば実現できるのではないかなと思う。

・こういう場に来ることも、話を聞くということもなかったから、今の子供を持っている若い方から地区なり、何なりでももっと何かどうにかしてもら

いたいとかそういうのも全く話を聞いたことがない。最初はそこからじゃないか。

・基本的には子供たちには何が大事なのかということで、親御さんの意見もあるだろうが、何が子供にとってプラスになるか、ということを考えていけば必然的に答えが決まってくるのではないかなと思う。

・一番悪いのが九戸村の、戸田、伊保内、江刺家と合併しているのに未だに3つの分かれているというそれが一番駄目だ。戸田地区、伊保内地区、江刺家の人なんて伊保内に全然来ない。そういうふうな何にも協力しないというようなその3つの分かれているのがこの統合の一番悪いところだと私は思っている。何かと言えば戸田地区、なあと伊保内き学校とかそういうのが一番駄目だと思う。

・私はやっぱり統合がいいと思うし、まず最初に考えるのは子供たちにどんな環境がいいかというのをいつも考えていて、小さい子どもはトイレはどうあればいいか、結構そういうのは頭の中で計算して考えている。今度新しく建てるんだったら、やっぱり建てなければだめだな、建てていただきたいと思って構想を練っているが、トイレはどうあればいいかとか、あとは村の図書館もほしいなとか、いろんなのを考えて広場が一番ほしい所で、それで子供たちが育まれていくと思うからいつもプラス面で、広場にも行くし、公園にも山にも行くし、田中山も通るし子供をおんぶしてでも散歩に行くし、だから子供たちにとってこの九戸村の伊保内がどうあればいいのかというのを考えて、クマが出ない時間帯に散歩は全部この辺歩いている。本当に統合して子供たち、長興寺の子も戸田の子もみんな一緒に仲よく、仲が悪くても一緒にいい環境で育てていけばいいなといつも部屋の構造も考えてはいるんです。最初はトイレ、手洗い、どんな高さがいいかとか。そういうふうにして考えて、カーテンはどうかとか考えている。子供が本当に楽しいようなものを考えていて、今中学校3年生は気の毒だなとか、高校生も頑張っているんだけど、早く伊保内高校がなくなれば困るから早くすっきりしたいなとか、色々子供たちのために考えている。そういうわけでこれからも子供たちのために何かできることは頑張りたいと思うので、統合してほしいなと思う。

・何回かこういうミーティングをされているみたいだが、やはり教育委員会の方で手ごたえというのを感じていると思うので、ある程度こういう大きな事業をするというのは100%賛成というのはあり得ない話ではないか。ある程度強行してこちらの資料に、デメリット、メリットとありますけれどもメリットの部分の説明して、反対があるのはこれはもうしょうがない話ではないか。まず、子供目線で考えてもらいたい。子供のために何がいいのか、親の目線ではなくて、子供から本当はアンケートを取ればいいだろうけれどもやっぱり子供中心で考えていかないと、親の意見で根強い危機感みたいなものがあるので、反対があるのはもうしょうがないなと思うので、ある程度強行して意見を踏まえて、もう強制的というか国会ではないですけどもそういうふうにしていかないとこれって何回話しても前に進まないような気はしている。

・今の現状の人数を見ていけば統合をした方がいいと思う。子供が大きくなって、正直あまり関心が前はなかったがこっちに帰ってきて小学校に入った時に、その人数を見た時に今の現状がこうなのかというのを改めて思い知らされた。それでも孫のことは自分たちはどこか他人の目というか真剣に考えたことはなかったが、その後小中一貫というお話があって、小学校は統合は今の現状ではしょうがないのではないか。

・小学校統合と小中一貫施設一体型とか言っていたが、それと同じく進めていくのに自分自身の中では何か受け入れられない、統合は統合でやってもいいのではないか、ただし統合と小中一貫施設一体型というのが自分の頭の中にはなくて、いま県内で小中一貫でやっている学校も確かにあるけれども、聞いた時点では小中一貫というのは自分の中ではかみ砕いて自分のものにすることができなかったということが私自身はあった。ただやはり、地域づく

りというのももちろん大切だし、地元で学校がなくなるというのはやはり地域にとってもデメリットの部分も確かにあると思うのでそこら辺を踏まえ、小学校統合はしていった方がいいのかなと考えている。

・小学校統合は賛成である。正直こんなにこの話が何も前に進んでいなかったのかということ、今日初めて実感した。どこかではそれに向かって進んでいっているんだろうなと思っていたのが、親御さんたちも諦めているとか、ではどこからそれを始めていったらいいのか、村民の人たち知らない人たちも多いのではないかなと思う。統合はした方がいいと思う。

・学校建設とこの教育の在り方というのはまた違ったように考えていて、統合はしてあげた方がいいとは思っている。

・（前回は）そこら辺がもっともっと色々なことを話し合ってから、進める方向を考えていただきたかったのだが、その話を全然できない状態で進められたので、一旦はやめた方がいいと判断したが子供たちのためには統合はしてあげるべきだとそれはずっと考えていた。

・ある施設を使えるのであれば無理して建てる必要があるのかなと。伊保内に住んでいるからそう思うわけではないけれども、みんなから見える所に小学校があってもいいと思う。スピード感をもって進めていった方が子供がいなくなる前に。さっき聞いていたら二戸に行こうと思えば行けるんだと思えば。親がいなくなれば子供もいなくなる。

・先程教育長さんがおっしゃったように、子供は子供によって育つというふう言っていた。だからやはり子供たちがいる場所はある程度の人数が必要だと思ってしまうので、統合には賛成です。前に小中一貫の話があった時に、その説明が十分伝わってなかったのかなと、そこがやっぱり白紙撤回になってしまったんだと思う。私は今から小中一貫をどうするかということはいえないが、やはり小中一貫校の良さというのを十分みなさんに説明して、わかっていただかないと進まないと思う。

・子供たちが見える所に学校があってもいいという気持ちはよくわかるが、ただ、先程教育長が話したようにそれを1回統合した、また別なかたちで統合する。それを繰り返すことはやっぱり容易なことではないと思う。だから、（村民が）統合するということに賛成であればではそこをどうするか、どうするかたちが一番いいのかということ、一般的には分からないと思うので、教育委員会の方からこういうふうになっているというのを示していただかないと分からないのだと思うので、そのところをよろしくお願ひしたい。

・子供は子供たちの中で自分たちの世界をつくっていく。ある程度の人数がないと（それが）できないのは、まさにその通りだと思う。複式の状況でどうかという問題もあると思うし、大人の社会にいきなり飛び込む格好になるわけですね。複式からどこかに行けばそれなりの人数の社会に入っていかなければならないから、そういう経験をしていくというのは子供の時から色々な付き合いとかの中で作っていくものだと思うので、今の現状をみれば統合を早くしてほしいと思う。

・全部色々なことを入れてしまうと、時間がかかってしまうからとりあえず統合という話だが、学校はやはり新しい学校建てたらいいと思うし、建築も考えてその次にどうするか考えてもいい。学校を建てるべきだ。何も子供の数も少ないしコンパクトな学校でみんなが行きやすいような場所であればいい。近くに図書館もあればいいとかと言う意見もあったが、そういうものも含めて考えていく。ただそれができてからでないと統合できないというのだいぶ先になってしまうから、この次はこうしたいというのをつくってその中で進めていけばいいと思う。私は基本的には中心部に学校を置くべきだ

と思うし、それをベースにした地域づくりなりができればいいなと思うし、将来的に中学校のことも考えなければならないと思うが、中学校だってもう伊保内地区に持ってくればいいのではないかなと、個人的な考えだけでも、中心部にそんなのがあった方がそこに私たちがつくったこの地域が・・・人口減少というのはどこにもあることで、ここだってそうになっていくんだけど、20年先はどうだろう、20年、30年先までこの村が残ってほしい、そのためにみんなで自分たちは関係ないではなくて、我々も考えてあげていきたいと思っている。

・先生の方が色々な知識があるから今の人数を見た時には義務教育学校とかその辺は教えていただいて、いま例えば小学校を統合しますと、次の段階として建物を建てる時に小中一貫の義務教育学校とかそういう段階的にいくということは可能なのか。

・いずれ全部入れてしまおうとなかなか時間がかかるんじゃないかなと思うので、いずれ建てる段階でとりあえずそこまでやって、そしたらその次の段階でそこを考えて義務教育学校でも・・・みなさんの意見なり先生方に出してもらって、そんな感じになればいいと思う。

・江刺家、伊保内、戸田というふうについていっていつまでもこだわっているとすれば失礼かもしれないが、やはりこれからは村一つとして考えていかなければならないと思う。子供たちを中心に考えて村一つとしてまとまっていくのだというふうには考えないと、成り立って行かないのではないのかなということと、中学校の教員数が大変なんだということ、そこを将来の中学生になる子供たちのために、そこをしっかりと考えていかなければならないんじゃないかと思った。そういうところを説明して教えていただかないと、みなさんが、いつこうなったのかということになってしまうと思うので、よろしくお願ひしたいと思う。

【江刺家 地区】

内 容

- ・例えば他の地区ではどんな意見が出されたのか。
- ・1回孫の授業参観に行ったことがあるが、3人のクラスで、初めて複式というのを見て4年生に教えている時は3年生は机が横になって、自習、一人勉強みたいな、先生がこれをやりなさいと思うと思うが、初めて見た時に複式って人数が少なければ学級の会長さんとか色んなことは出来たりするかもしれないですけども、何となくこっちが先生がやっていれば、こちらは自習で初めて見て違和感を感じたというか、そんな感じがした。
- ・一時期統合という話がでたが、もう統合になるのかなと思ったりもしたが、その後ずっと何もなくなったなと思っていた。
- ・親御さんたちから怒りの声があったというのは何に対しての怒りだったのか。
- ・複式学級というのは何のことなんだろうと全然わからなくて、さっき聞いて今はそういうふうになっているんだと今初めて知った。
- ・統合した時のデメリットみたいなのは何なのか。例えば、伊保内だったら伊保内に一つつくってみんなそこに行くとなった時に、デメリットと言ったら何になるのか。
- ・通うというのがデメリットではないかなと思うが、それに関しては中学校だって普通に行っているわけで、今は近くても普通に車で乗せて歩いている

親御さんたちいっぱいいる。歩いて登校している人の方が少なそうな感じがする。それ以外に何かこうやったら困るということはあるのか。

- ・各学校の PTA に対する説明会（懇談会）とかというのもやられているのか。
- ・前回小中一貫校というかたちで進んでいたわけだが、その時に小中一貫校の見直しを求める会というのをつくって、小中一貫校には反対という活動で、現役の親さんたちが現に今子供たちを見ていてこのままいく方がいいのか、あるいは一緒になった方がいいのかというのを一番考えて判断してもらいたいということである。現役の親さんたちがそれぞれ、よし、うちはもう降参と、この人数では子供たちがかわいそうだというのであれば、それは統合を選択していけばいいのではないかと、というのがその頃の会の考え方だった。中学校と一緒にする必要はないだろうなということ。
- ・あとは小学校の統合については、何よりも親さんたちがどう考えるだろうか、親さんたちは、一緒となってもいいと思う。例えば江刺家小の親さんたちはもう統合しようというのであれば、地域でも反対は起こらないんじゃないかと思うが。あるいは親さんたちはいや、このままでいい、頑張っってやっっていくとなればそれはそれで地域でも応援をしていく。そこからいくと現役の親さんたち、これから親になる世代が子供たちのためにどうあればいいかというのを考える機会をつくっていただいて、あるいは自らつくって、そういうふうな親さんたちにご判断を委ねるべきだと思う。
- ・中学校が令和 16 年度に 50 人になる。この年に向けて例えば小中一貫にしたとして選べる部活がなくなるという事態を小中一貫にしたら解消できるのか。
- ・親御さんたちともずっと話し合いはしてきていたと言っていたけれども、義務教育学校の話はしたのか。
- ・今の親さんたち、自分たちの意見は無視されたみたいな感じのところがあるんだと思うが、いろんな機会を使って現役の親さんたちがどう考えるか、子育てが終わった世代が真剣に考えてもなかなか、まるで簡単に考えてしまうので、やはり親さんたちが将来自分たちの子供をどこでどういうふうに育てようかというのを、仕掛けていってその人たちの意見がこうだというようになっていけば地域はそれに反対したりはしないと思う。そこへの仕掛けをやっていないかなくてはならない。